

ナポレオンとルーヴル美術館

2021年10月4日

コロナ禍の影響でこの講義も3ヶ月遅れです、楽しみの観光も少しダウンです！
少しの欠席もありましたが元気に観光に出かけました。
フランスの英雄伝説ナポレオンですね！

1. ナポレオン・ボナパルトの生涯

- ・1769年8月15日 コルシカ島生
- ・1796～1797年 イタリア遠征
- ・1798～1801年 エジプト遠征
- ・1804年 皇帝に
- ・1821年5月 セント・ヘレナ島で死去
- ・1823年 「セント・ヘレナ回想録」

革命の子、自由主義のメシアとしてのナポレオンの
イメージの再創出

*ナポレオンの神話の誕生

- ・ロマン主義的英雄
- ・政治・文化面での貢献



2. ナポレオンによるパリの美化

- ・セーヌ河の橋の建設：イエナ橋とアウステルリッツ橋（5つの橋を計画）
- ・ウルム川からの上水道の整備
- ・ペール・ラシェーズ墓地の造営
- ・シャイヨー宮の建設計画
- ・ナポレオン美術館
- ・ナポレオン関連のモニュメント：カルーゼル凱旋門、シャトレ泉水、ヴァンドーム円柱

※ナポレオンが理想とする古代ローマとエジプト

- ・凱旋門→ローマ帝政時代
- ・円柱→古代エジプト時代
- ・ロマン主義 個人主義

※パリのローマ化とエジプト化 交差する二つの歴史軸

①ルーヴル美術館（カルーゼル凱旋門）→凱旋門（エトワール広場）

②マドレーヌ寺院（1805年「栄光の神殿」：古代神殿風）→ブルボン宮（ファサードはナポレオン時代に建造） * 少し迷子になりました

*ナポレオンにも憧れの所があったのですね！エジプト時代・ピラミッド・凱旋門



ヴァンドーム広場

3. ルーヴル美術館の歴史

- ・ 12 世紀 要塞として建立（フィリップ 2 世）
- ・ 14 世紀 城館として再建（シャルル 5 世）
- ・ 16 世紀 王宮として拡張（フランソワ 1 世）
- ・ 17 世紀（1682 年）ヴェルサイユ宮殿建立（ルイ 14 世）
↳ルーヴル宮は王室美術品コレクションの収納・展示の場所／絵画彫刻アカデミーの所在地
- ・ 1699 年 サロン展開始
- ・ 1793 年 「美術館」として市民に公開
↳美術品の国外流出を避けるために国有化／世界最初の近代美術館
- ・ 1803 年 「ナポレオン美術館」と命名
- ・ 1983 年 グラン・ルーヴル計画（ミッテラン大統領によるグラン・プロジェクトの一環）



フランスへ 10 年前位に観光に行きました、ルーヴル美術館に行く機会に恵まれガラス張りピラミッド、何故ここにピラミッドがと思いつつ入りました。本日の講義を聞き納得しました。「モナリザ」を鑑賞に・・・モナリザ展示を見て驚きました大きな展示場に 1 点のみでした、皆さんが固まらないよう広い範囲から鑑賞出来るように人をかき分けることなく見ることが出来ました。又絵画を模写する人、写真を撮る人いいですね！いつまでも忘れることなく思い出します。

後日倉敷市大原美術館に行くことが有りエル・グレコの作品を同じ様に展示していました、ここは何度も行きますが展示を変えているのは驚きでした。

4. ナポレオンと文学

- ・ スタンダール（1783～1842）
「赤と黒—1830 年の年代記」 1830 年刊行
- ・ ビクトル・ユゴー（1802—1885）
「レ・ミゼラブル」
ナポレオンをモデルに作品 *もう少しフランス文学の勉強が足りませんでした。